

大村益次郎

【おおむらますじろう】

おおむら - ますじろう おほむらますじらう 【大村益次郎】  
(1824-1869) 陸軍の創立者。周防(すおう)の人。一時、村田蔵六と称した。適塾で蘭学を修め医師となる。のち長州藩で兵学を講じ、戊辰戦争では官軍を指揮して彰義隊を討伐。1869年(明治2)兵部大輔となり、兵制の近代化に尽力したが、同年守旧派に襲われ死去。

- 幕末辞典 -